

授業評価アンケート 調査結果報告

昨秋に実施した第7回「授業改善のためのアンケート」調査結果の概要を、今月（通年科目）と来月（後期完結科目）の2回にわたって報告します。データ分析は、調査を実施した（株）日経リサーチによるものです。なお結果の詳細については、4月30日まで教務課、図書館、学友会本部で閲覧できますので、ご覧ください。

調査概要 (通年科目)

- 【調査実施時期】2002年11月6日～20日
- 【調査対象】獨協大学の全学生
- 【調査方法】授業出席者に対して配布、授業時間内に担当教員が回収
- 【調査内容】授業評価、授業満足度、講義・外国語等の評価

【調査回収サンプル数】 合計 44484サンプル*

学部別	合計	学年別	合計
外国語学部	19334	1年	4242
ドイツ語学科	4618	2年	12938
英語学科	9867	3年	11623
フランス語学科	3484	4年	4089
言語文化学科	1365		
経済学部	13598		
経済学科	7018		
経営学科	6580		
法学部	9952		
法律学科	7346		
国際関係法学科	2606		

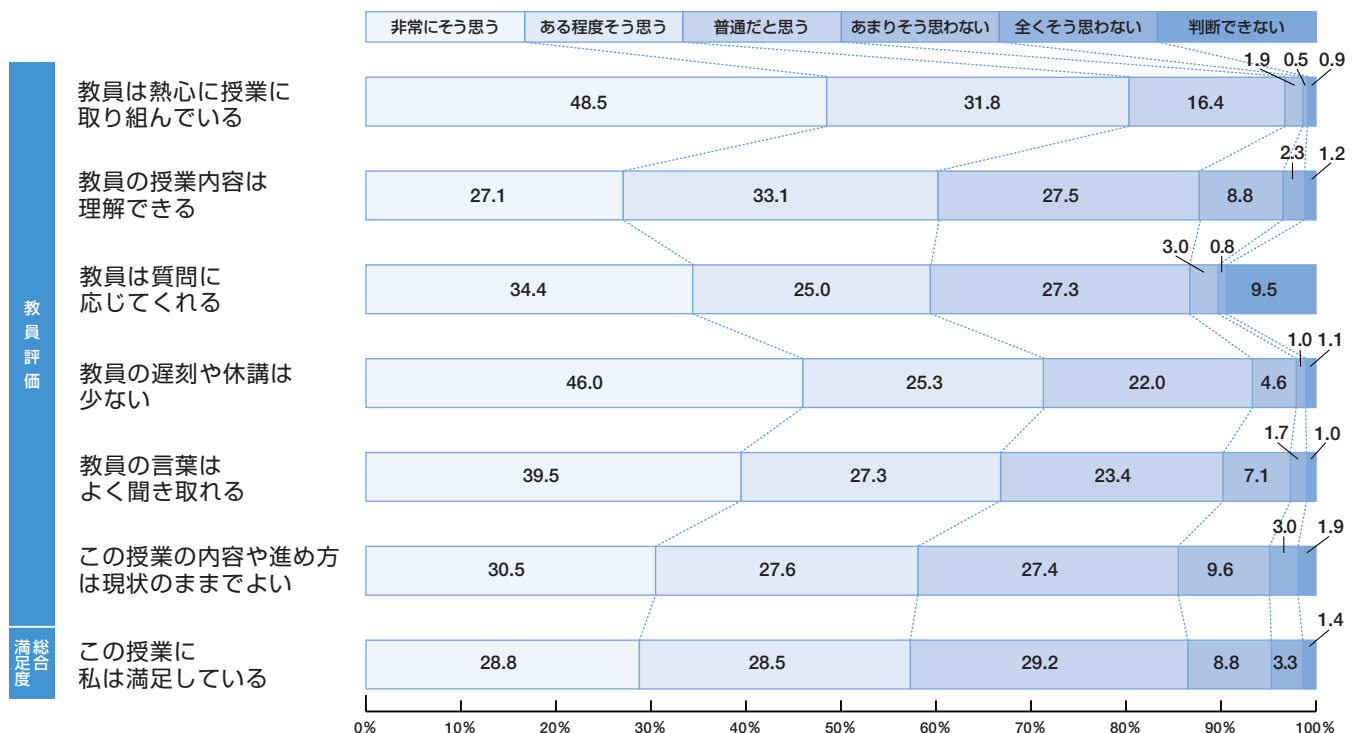
*学科、学年が未記入のものを含む。

【教員所属学科別回収率】

	受講者数	回答者数	回答率
外国語学部 合計	42246	25991	61.5%
ドイツ語学科	4865	3501	72.0%
英語学科	17972	12434	69.2%
フランス語学科	4557	3079	67.6%
言語文化学科	9612	4144	43.1%
共通科目	5233	2828	54.0%
外国語学部客員教員	7	5	71.4%
経済学部 合計	25555	11219	43.9%
経済学科	12709	5181	40.8%
経営学科	12846	6038	47.0%
法学部 合計	17030	7274	42.7%
法律学科	10226	4401	43.0%
国際関係法学科	6764	2855	42.2%
法学部客員教員	40	18	45.0%

共通項目全体について

- 教員評価の項目を「非常にそう思う」の割合でみると、最も評価が高いものは「教員は熱心に授業に取り組んでいる」で48.5%となっている。
- 「非常にそう思う」と「ある程度そう思う」の合計では、「教員は熱心に授業に取り組んでいる」が80.3%と8割以上の評価を得ている。次いで「教員の遅刻や休講は少ない」(71.3%)、「教員の言葉はよく聞き取れる」(66.8%)などが高い評価となっている。
- 全般に評価は高めであるが、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」の合計スコアがやや高いものは「この授業の内容や進め方は現状のままでよい」(12.6%)、「教員の授業内容は理解できる」(11.1%)で、否定的評価が1割を超えている。
- 総合満足度では、「非常にそう思う」と「ある程度そう思う」の合計が57.3%と、6割弱が授業に満足している。



新入生へ！

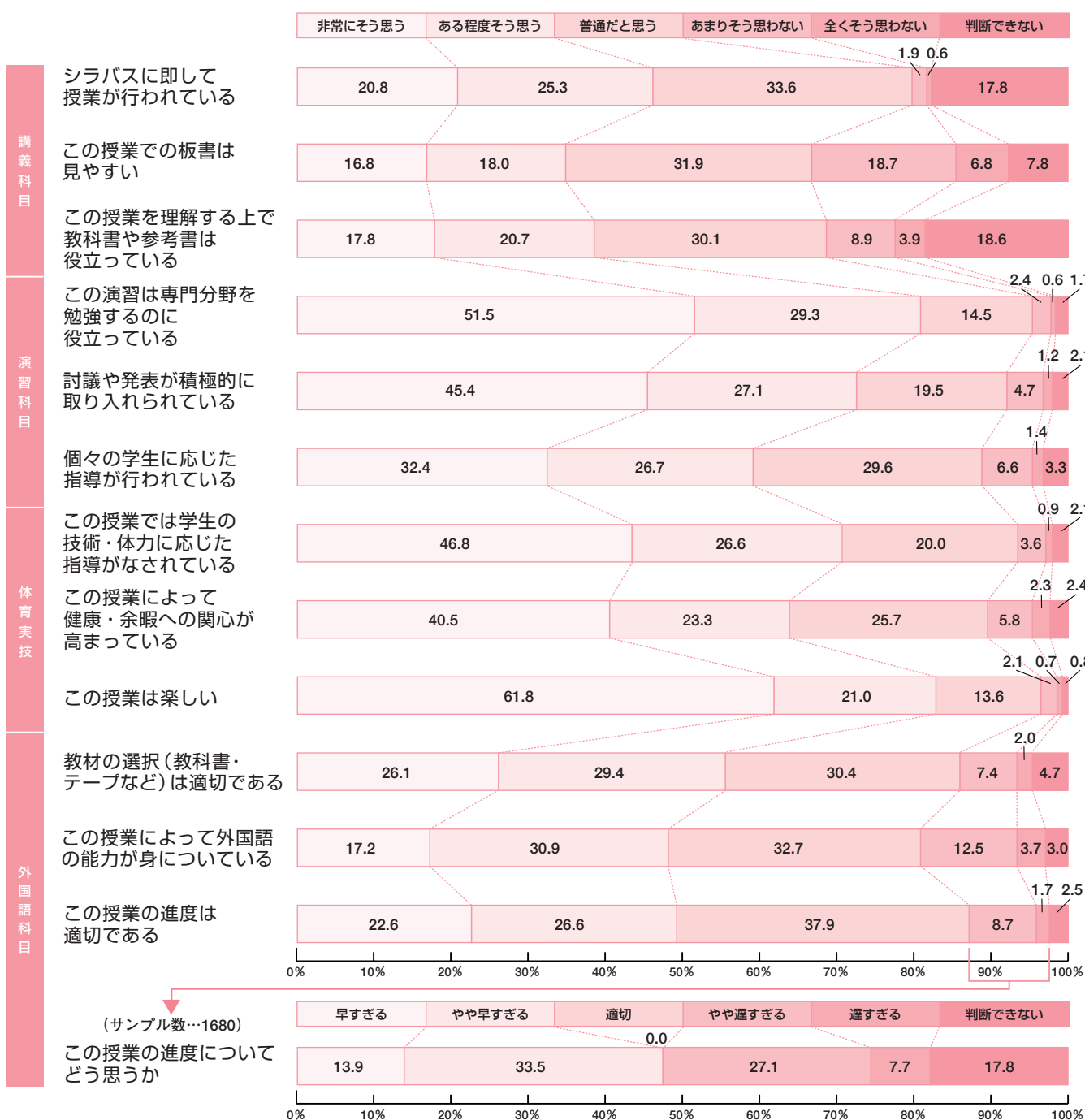
情報
知っ
得

学友会の用品貸し出し、体育棟2階の学友会本部でデジタルカメラやビデオ、キャッチボールセット、バドミントンなどが借りられる。また、35周年記念館（天川美季（独3年））

個別の授業科目について

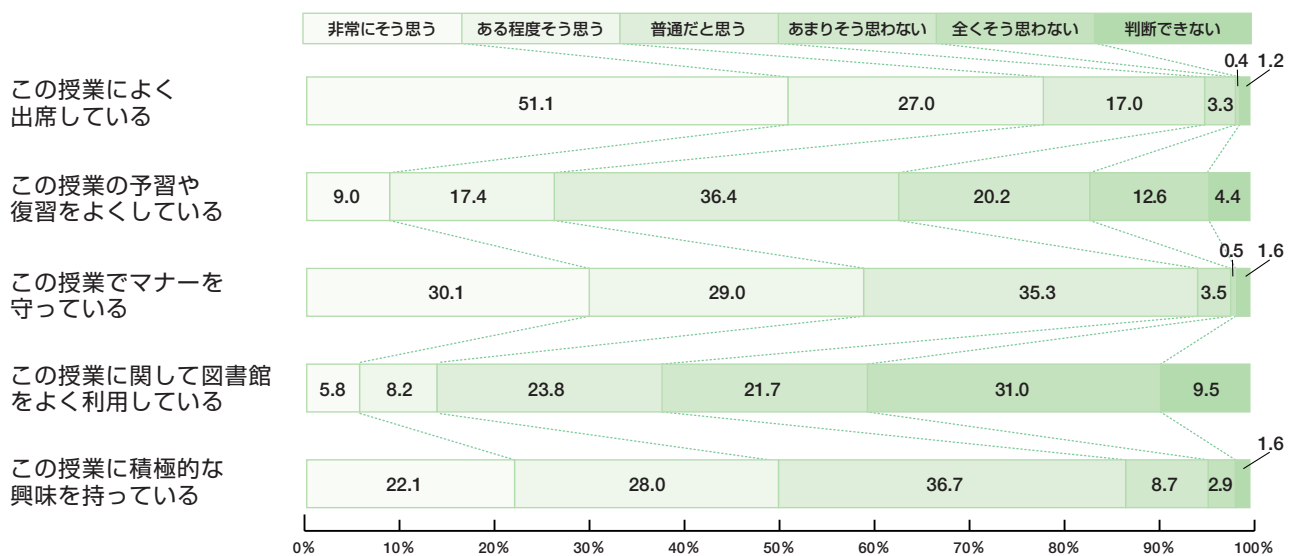
- 演習科目、体育実技については評価が高い傾向。
- 演習科目では「この演習は専門分野を勉強するのに役立つ」の評価が最も高く、「非常にそう思う」と「ある程度そう思う」の合計が80.8%と、8割以上が満足している。
また、「討議や発表が積極的に取り入れられている」においても、「非常にそう思う」と「ある程度そう思う」の合計は72.5%と評価は高い。
- 体育実技では「この授業は楽しい」について6割以上が「非常にそう思う」と高い評価を得ている。
- 外国語科目では「使用教材」「能力の会得」「授業進度」という3つの視点で5割前後の評価となっている。
「授業の進度をどう思うか」と尋ねたところ、47.4%と半数近くが「早すぎる」と回答し、「遅すぎる」を10ポイント以上上回っている。
- 講義科目については、「非常にそう思う」と「ある程度そう思う」の合計が5割を超えるものがなく、やや低い評価となっている。

※サンプル数…講義科目24136、演習科目2813、体育実技1342、外国語科目16193



自己評価項目について

- 「この授業によく出席している」については、「非常にそう思う」が51.1%と5割を超えている。「非常にそう思う」と「ある程度そう思う」の合計では78.1%と8割近く、アンケート回答者の出席率の高さがうかがえる。
- 次に評価が高いのは「この授業でマナーを守っている」で、「非常にそう思う」と「ある程度そう思う」の合計は59.1%と、授業態度の評価も高い。
- 「この授業の予習や復習をよくしている」「この授業に関して図書館をよく利用している」については評価が低く、「非常にそう思う」と「ある程度そう思う」の合計が「予習や復習」では26.4%、「図書館の利用」では14.0%となっており、授業時間以外の勉強に臨む姿勢には弱さが見られる。
- 「この授業に積極的な興味を持っている」については、「非常にそう思う」と「ある程度そう思う」の合計が約5割となっているが、「普通だと思う」のスコアが4割近くあり、授業に対する関心が必ずしも強いとはいえず、それが勉強態度にもつながっていることがうかがえる。



データ分析

全体データ

- 共通項目全体について
教員の授業に対する熱心な取り組み、遅刻・休講の少なさに対しては高い評価となっている。一方で、授業内容の理解、質問への対応、授業の内容・進め方が現状のままでよいか、といった項目については比較的评价が低くなっており、この点の改善が授業満足度の向上へとつながると考えられる。
- 個別の授業科目について
講義科目はどの項目でも「ふつうだと思う」の回答が多くなっている。特に板書の見やすさや、教科書および参考書の役立ち度に対する評価が低くなっている。演習科目は他の科目と比較して全体的に評価が高く、特に専門分野の知識習得については高い評価となっている。外国語科目の能力の習得については低評価。外国語学部の学生と比較して、経済学部と法学部の学生にその傾向が見られる。体育実技は出席率もよく、授業の楽しさに対する評価が高くなっている。

自己評価項目について

授業の出席率についてはよいと回答している学生が多い。一方で、予習・復習や、図書館の利用についての自己評価はかなり低くなっており、教員に授業内容の改善を求める一方で、学生の自己学習に対する消極的な姿勢がうかがえる。

属性別データ

- 学年別
学年が上がるごとに評価が上がる傾向にある。特に授業満足度では1年生と4年生では20ポイント以上の差があり、在籍年数が長くなることで大学の授業に慣れ、評価基準が若干甘くなっていることも考えられる。
- 学部別
教員評価では学部間であまり大きな差は見られないが、質問に応じる態度については、外国語学部で高く、法学部では低めの評価となっている。

後期「授業改善のためのアンケート」結果報告について（お詫び）

後期「授業改善のためのアンケート」実施にあたり、学生諸君の協力に感謝します。さて、このたびアンケート集計結果を確認・点検したところ、一部集計結果が反映されていない科目のあることが判明しました。調査した結果、全1843科目中「演習科目」の一部76科目、およびその他一部の科目について、回収した記入済用紙が未使用用紙に混入し、紛失した可能性が高いことがわかりました。また、集計を行っている調査会社「㈱日経リサーチ」から、90科目の「自由回答」についてデータの印刷漏れがあったとの報告がありました。以上の要因により集計が反映されない状況とな

てしまいました。学生諸君には、アンケート調査にご協力いただきながら、このような結果となり、まことに申し訳ありません。このようなことが二度と起こらないよう、事務体制を整えていきます。なお、この件についてのお問い合わせ等は教務課庶務係までお願いいたします。
獨協大学自己点検運営委員会
教務部長 古川堅治

東急ストアの1階にあるマックの隣の喫茶店・FAZENDA（ファゼンダ）は、獨大生は10%OFFになり、学生証を会計の際に提示すれば割引してくれることを知らずに（というが忘れていて）みすみす定価でお茶してしまつた思い出のカフェ……。ちなみにフレージャーカフェが私的には加藤佐季子（14年）